

# 令和3年度事業実績について

## I 事業の目的

安全で商品性の高い農産物の安定供給と生産性の向上を図るため、関係機関・団体、農薬メーカー等と密接な連携を図りながら、農薬の安全・適正使用の推進を始めとして、効率的な病虫害防除の推進、新規登録・適用拡大農薬の普及性の実証及び農産物の安全性を確保するGAPの推進等の各種事業に取り組んだ。

## II 実施事業の概要

### 1 植物防疫啓発事業

病虫害防除に関わる関係法令を遵守し、農産物への農薬残留事故の回避及び農薬による環境汚染の防止を図り、農薬の安全で適正な使用による安定した農業生産及び生産環境を維持することを目的として、農薬管理指導士、防除業者、農薬販売業者及びJA・関係団体等の指導員などを対象にした各種研修会を開催するなど啓発活動を実施した。特に消費者の食の安全・安心への関心が高まる中、人の健康へのリスクと環境負荷への軽減が求められており、「宮崎方式ICM技術」確立と普及に関する啓発活動を積極的に行った。

また、病虫害発生が多様化と難防除病虫害の増加に対応した効率的な防除と安全な農薬使用を推進するため、発生予察情報を迅速で適切に提供するとともに、最新の防除技術及び農薬安全使用などに関する資料を作成し、的確な広報に努めた。

#### 主な実施項目

#### (1) 農薬管理指導士更新研修会の開催

対象者：農薬管理指導士、農産物直売所安全・安心推進員

研修会の内容：

- ① 農薬の安全使用と危被害防止対策  
(一般社団法人宮崎県植物防疫協会)
- ② 病虫害と防除対策の基礎 (県総合農試専門技術センター)
- ③ 毒物及び劇物取締法 (県中央、都城、延岡保健所)

表1 開催概要

開催日	開催場所	参加者数
11月29日	都城市(市総合文化ホール)	86名
11月30日	延岡市(延岡市中小企業振興センター)	31名
12月1日	宮崎市(農協会館JA・AZM本館)	179名
合	計	296名

(2) 宮崎県農薬管理指導士新規養成研修の開催

開催日：令和4年3月9日

場 所：宮崎市 宮崎県農協会館 J A・A Z M本館大ホール

対象者：農薬取扱者（J A、農薬販売店等）、防除業者、ゴルフ場職員等  
73名が受講・受験し、71名が認定された。

研修会の内容：

- ① 関連法令（毒物及び劇物取締法）（県医療薬務課）
- ② 植物防疫一般・関連法令（植物防疫、農薬行政、農薬取締法）  
（県総合農試病害虫防除・肥料検査課）
- ③ 農薬一般（農薬の種類、特性等）（県総合農試生物環境部）
- ④ 農薬の安全性評価及び各種基準  
（県総合農試病害虫防除・肥料検査課）
- ⑤ 雑草防除（県総合農試作物部）
- ⑥ 病害虫防除（県総合農試専門技術センター）
- ⑦ 農薬の安全使用、危被害防止対策（県農業普及技術課）
- ⑧ 農薬管理指導士の任務（県農業普及技術課）

(3) 植物防疫研修会の開催

開催日：令和3年12月7日

場 所：宮崎市 宮崎県企業局県電ホール

県内各地 地域農業改良普及センター（リモート）

対象者：市町村、J A、経済連、農業共済組合、農薬卸組合、  
農薬小売商組合、農薬メーカー、県 計123名出席

研修会の内容

- ① 演題：宮崎県における植物防疫対策の取組について  
講師：宮崎県農業普及技術課環境保全担当（担当リーダー）
- ② 演題：サツマイモ基腐病の防除対策について  
講師：宮崎県総合農業試験場専門技術センター（病害虫担当）
- ③ 演題：産業用無人航空機（無人ヘリ・ドローン）利用による  
防除の取組について  
講師：宮崎県農業共済組合事業部農産園芸課

(4) 病害虫発生予察情報の印刷・配付

発生予察情報	計27回（2,240部）
内訳 予報	12回
警報	0回
注意報	1回
特殊報	3回
防除情報	11回

- (5) 農薬適正・安全対策資料及び防除対策資料の作成・配付
- ① 農薬適正・安全対策資料 480部  
(農薬管理指導士更新研修会資料、植物防疫研修会資料)
  - ② 農薬安全・適正使用啓発資料
    - ・ ドローンで農薬散布するときの注意 1,300部
    - ・ トマト類を栽培されている皆様へ 8,000部
    - ・ 県内で「トマトキバガ」の発生が確認されました 8,000部
    - ・ 令和4年産雑草イネ対策マニュアル 1,600部
  - ③ 令和4年版病害虫・雑草防除等指導指針 500部
  - ④ 令和2年度農薬展示ほ成績書 100部

## 2 農薬展示ほ設置事業

病害虫・雑草防除等指導指針や地域の防除暦策定の資料とするため、西臼杵支庁・農林振興局(農業改良普及センター)等関係機関の協力を得て、新たに登録あるいは適用が拡大された農薬を中心に展示ほを設置し、防除効果等の検討を行った。

### (1) 農薬展示ほ設置及び検討会の開催実績

表2 農薬展示ほ設置実績 ( )は前年度

部 門	農 薬 数	展 示 箇 所 数
水 稻	25 ( 34)	45 ( 51)
大 豆	2 ( 1)	4 ( 1)
茶	0 ( 0)	0 ( 0)
野 菜	16 ( 14)	37 ( 35)
花 き	9 ( 6)	15 ( 14)
果 樹	13 ( 7)	25 ( 19)
飼 料 イ ネ	12 ( 14)	21 ( 24)
合 計	77 ( 76)	147 (144)

表3 展示ほ検討会の開催実績

部 門	現地検討会	成績検討会	設置検討会	合計
水稻・飼料用イネ	0 回	2 回	1 回	3 回
野 菜		1	1	2
花 き		1	1	2
果 樹		1	1	2
茶				
飼 料 作				
合 計	0 回	5 回	4 回	9 回



③ ひなたGAP更新審査

宮崎市、都城市、延岡市、日向市、日南市、西都市、串間市、高鍋町、三股町の農業者を対象に21ヶ所を実施

(3) 判定審査会の開催

5月(13件)、8月(11件)、11月(6件)、翌年2月(11件)の実施

(4) 認証証書の発行事務

初回審査(10件)、更新審査(28件)の認証証書の発行